



# 遠大勵志

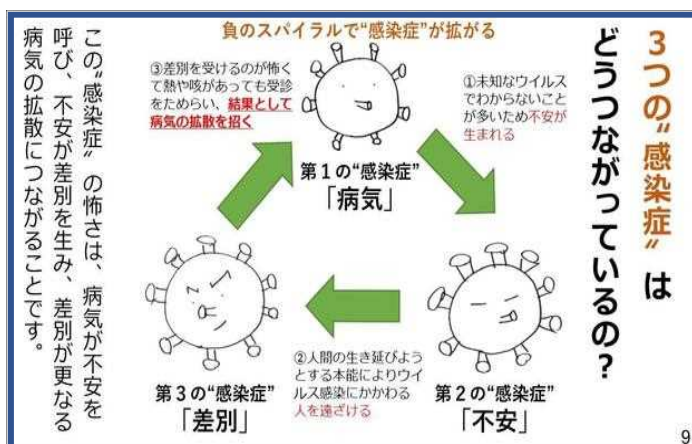
## 新型コロナウイルスについて

みなさんには、本校から罹患者を出さないために、「マスクの着用」「検温の徹底」「うがい励行」「手洗い徹底」「教室での換気」「清掃の徹底」について、何度も様々な場面をお願いしています。

特に、「マスク着用」は、自分自身の飛沫による相手への感染を防ぐという意味合いで着用をお願いしています。他人を思いやる気持ちを「マスク着用」を通して示しましょう。(校内はもちろん校外でも着用の徹底です)

数日前、日本赤十字社のHPを見ました。その中に「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」というタイトルの内容が紹介されていました。

新型コロナウイルスが怖いのは「3つの”感染症”」という顔があること。その3つの”感染症”とは、下の枠囲みにも載せましたが、第1の”感染症”「病気」、第2の”感染症”「不安」、第3の”感染症”「差別」で、これらは繋がっているとありました。



【日本赤十字社 HP より引用】

第1の”感染症”とは、病気そのもので感染者との接触でうつるということ。

第2の”感染症”とは、わからないことが多いため

に強い不安や恐れを感じて振り回され、それが自身の心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、人から人へ伝染していくこと。

第3の”感染症”とは、嫌悪・偏見・差別で、ウイルス感染にかかわる人や対象を、日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりを壊してしまうことだそうです。

それでは、これらの感染症を防ぐためにはどうすればいいのか。

★第1の”感染症”に対して ==> 一人一人が「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」といった衛生行動を徹底すること。

★第2の”感染症”に対して ==> 気づく力を高めるには、現状を整理してみる・自分自身の考え方や気持ちなどを様々な角度から観察すること。自分を支える力を高めるには、いつもの生活習慣やペースを保つこと・今の状況だからこそできることを取り組んでみる。

★第3の”感染症”に対して ==> 確かな情報を拡めること・差別的な言動に同調しないようにすること・治療を受けている人とその家族、自宅待機している人、医療従事者など、この事態に対応している全ての人たちにねぎらいと敬意を払うこと。

以上のように、書かれてありました。

最近の新聞にも、医療従事者やその家族への誹謗中傷、テマによる商店等への被害などが起きていることが掲載されています。

これらは決してあってはならないことです。今後、私たちは感染防止に尽力している人たちへのリスペクトを持ちながら、感染しないような対応を徹底することが、より求められます。

# 学校再開について

岩手県では、県立学校を4月30日と5月1日は休校としましたが、現在普通に学校が再開され、授業・部活動など実施されています。しかし、このような県は、岩手を含めて、青森・秋田・鳥取・佐賀・長崎・大分・鹿児島のみならず8県しかないことを5/16の新聞紙面で確認できました。多くの県の生徒はいまだに学校の再開が見通せない状況にあることに思いを馳せながら、いくらかの制約があるものの、学校で学習や部活動に取り組めることの幸せを私たちは共有したいものです。

ちなみに、緊急事態宣言が一部解除されたことで、今後休校措置を短縮し学校再開を早める県は、山形・福島・栃木・石川・福井・静岡・三重・大阪・島根・徳島・高知・福岡・宮崎。

休校措置を短縮しない県は、宮城・茨城・群馬・埼玉・千葉・神奈川・富山・山梨・長野・岐阜・滋賀・兵庫・奈良・和歌山・岡山・広島・山口・香川・愛媛・熊本・沖縄とのことでした。

## 新型コロナウイルス感染症 対策本部第14回本部員会 議 知事メッセージ(5/15)

緊急事態宣言の一部解除を受けて出された「知事メッセージ」を掲載します。

【岩手県 HP より抜粋】

昨日、国が特定警戒都道府県を含む39県について緊急事態措置を解除し、本県も緊急事態措置の対象外となりました。

本日から、感染防止対策として、次のことを県民の皆さま及び県外の皆さまにお願いします。

・不要不急の帰省や旅行など、特定警戒都道府県及び感染拡大注意都道府県との間の移動を避けることをお願いします。

・特定警戒都道府県及び感染拡大注意都道府県から岩手県に来県または帰県される皆さまには、緊急事態宣言が発令されている期間は、来県後2週間の慎重な行動をお願いします。

・感染拡大を予防する「新しい生活様式の実践例」に沿って「人と人との距離の確保」「マスクの着用」など、日常生活及び社会経済活動における感染拡大を予防する取組をお願いします。

具体的なやり方は、それぞれの現場に応じた工夫が必要となります。これまでも行ってきた「三つの密」を徹底的に避けること、手洗いや人と人との距離の確保など基本的な感染対策を継続し、感染拡大の防止と社会経済活動の維持を両立させましょう。

## 県高総文祭テーマ決定

【岩手日報5/16記事より】

県高校文化連盟は、15日、本年度の県高校総合文化祭のテーマを花巻南高校3年佐藤洋夢さんの

「文化の風よ 吹き渡れ 夢と希望を携えて  
岩手の未来に今旅立つ」に決めた。

21校3178人が応募した3561点から選ばれた。

6月9日の放送部門を皮切りに19部門が行われる予定。新型コロナウイルスの影響で同部門はオンラインで実施するほか、吹奏楽部門を兼ねる全日本吹奏楽コンクールの県大会・地区大会の中止が決まっている。総合開会式は10月9日、盛岡市の県民会館で行われる。

本校関係での入賞者、学校は次の通り。

【優良賞】 佐々木菜帆(黒沢尻北2年)

濱登美月(黒沢尻北2年)

【学校賞】 黒沢尻北、盛岡四、釜石

## 大学AO・推薦入試について

【朝日新聞5/15記事】

今秋以降に予定されている大学の総合型選抜と学校推薦型選抜について、文部科学省は14日、面接をオンラインで行うなどの配慮や工夫をするよう全国の国公私立大学に通知した。通知では、生徒のスポーツ実技を撮影した動画の提出や、大学の授業へのオンライン参加やレポート作成、入学後の学修計画書の提出など「多様な選抜方法の工夫」を呼びかけている。

各大学の入試要項が出ていない現状です。全ての大学で記事のような内容を実施することにはならないと思いますが、各大学がどのような入試内容を提示してきても、対応できる心構えは持ちながら、毎日の学習に取り組んで欲しい。頑張りましょう！！